　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　７月号

川口市立仲町中学校

所在地 川口市西川口２－１６－１

電　話　０４８（２５２）６１４０

**令和５年６月３０日**

さわやか相談室（２５２）６８９２

通級指導教室　（２５４）２２３０

　　『笑顔と規律と彩りのある学校』～地域に愛される学校～

ホームページ「仲町中」で検索を！<http://www.nakatyou.edumap.>jp

学校総合体育大会を終えて

 校　長　　藤田　由美恵

　　無情にも、試合終了の合図。

その場に泣き崩れる姿。涙を必死にこらえる姿。呆然と立ち尽くす友達にかけ寄って肩を優しく抱く姿…。６月１７日の土曜日からはじまったこの大会は、「負けたら引退」をかけた、３年生にとって最後の大会。今までの努力を、ここにかける情熱を心に刻みながらみんなで挑んだ、熱い、熱い大会となりました。これまでの長い道程。…友達や先輩方との関係に悩んだこと。一つのことを続けることの大変さ。コロナ禍に翻弄された３年間。時には悩み、苦しんで、それでも家族に支えられて、ここまで頑張りました。

振り返ると、私も２人の野球部の母でした。小１からスタートしたソフトボール、父親はすぐにチームのコーチになりました。休日のお茶当番も車出しも、ともに過ごしたママ友は、今では私の人生を支えてくれる大切な仲間となりました。中１から軟式野球部、高１から硬式野球部と、下の子が高３最後の夏予選大会ベスト４で負けるまで、野球を頑張る我が子の姿を通して「親として子供をもつ楽しさや喜び」の一部分を経験させてもらったような気がします。我が子が野球という、「こんなに情熱をかけられるものに出会えた」ことに感謝をし、「一生ともに過ごせる仲間と、ともに目指す目標があれば、どんなことも頑張れる」ことも、部活で学ばせていただいた、と今では懐かしい思い出です。毎日の素振りと、部屋でバドミントンの羽根を２００回打つことを日課にしていた子供たちに、羽根を投げ続けることを強制されていた母としては、この努力がいつか結果に結びついてほしいと、願わずにはいられませんでした。でも、下の子の中学校生活最後の大会は誰も予想しなかった初戦敗退。「頑張ったことが結果につながらないことがある」ことを学んだのも、これもまた部活動でした。

現在、部活動は社会の大きな変化とともに、市内一斉で全員加入ではなくなり、多様な選択が認められる時代です。放課後の子供たちの活躍の場は、決して部活動だけではありません。報道にあるように、学校の部活動は地域への移行が進められていく中で、新たな県の指針も１月には出るようです。実際、多くの顧問は、学校の事情により、自身の専門種目をもてるわけではありません。「子供たちのために」という情熱と、努力し時間を割いてくださる先生方のお陰で成り立っています。保護者や地域の皆様には、これまでもたくさん支えていただいている部活動です。大会期間中も時間をやりくりして、会場に足を運んでいただき、温かい励まし、大きな拍手、熱い声援がどんなにか子供たちの力になったか、と思います。たくさんの応援をありがとうございました。今後とも、変わらず温かいご支援・ご協力をお願いします。

１・２年生、次の主役は皆さんです。各部の伝統、先輩方の想いを引き継ぎ、新たなスタートです。

そして、市大会で素晴らしい成績を収め、川口市を代表して県大会に進む皆さん、本当におめでとうございます。仲町中学校は皆さんの頑張りを、心から応援しています。「悔いの無い熱い夏」を、ぜひ最後まで駆け抜けて頑張ってください。

＊今年度、タイムリーな情報や仲中生の活躍を学校HPにてお知らせするようにしています。ただし、写真掲載については個人情報の関係で、公開は数日間限定とします。この後水上自然教室等、なかなか見られない学校行事に係わる子供たちの姿をぜひリアルタイムでご覧ください。（掲載については入学時に確認させていただいておりますが、何かありましたら遠慮なくご連絡ください。）